

令和8年度横浜市高等学校奨学生募集要項

横浜市教育委員会

1 応募資格 次の(1)から(4)の全てを満たす方が申請できます。応募資格を満たさない方は選考されません。

(1) 保護者が横浜市内在住の方

・令和8年4月30日以前から奨学生願書の提出期限の時点も継続して市内在住であること

(2) 高等学校に在学し、品行方正な方

・「高等学校」は特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程を含みます。
高等専門学校、専修学校、各種学校等は含みません。
・高等学校を卒業又は修了したことがある方は対象外です。
・高等学校の市内・市外、国公立・私立は問いません。

(3) 前年度の在学における学年末の全履修教科・科目の評定平均値において5段階評価で3.50以上の方(小数点以下第3位を四捨五入)

・学業成績が3.50未満の方は採用されません。
・新1年生の場合は、中学校第3学年末の全履修教科の成績
※高等学校受検時の成績ではなく、学年末に出された成績です。
※中学校には、特別支援学校の中学部、中等教育学校の前期課程、義務教育学校の後期課程等を含みます。
※インターナショナルスクールや日本人学校等を卒業した場合も応募可能です。

※3.495・・・以上=3.50 ○

※3.494・・・以下=3.49 ×

(4) 経済的理由により高等学校の修学が困難な方

・目安：4人家族の場合で世帯収入が約500万円程度の方(所得制限はありません)
・上記の金額を超えた世帯収入がある方も採用になる場合があります。

神奈川県高校生等奨学給付金や他の奨学金等との併給も可能です。併給を受けようとする他の制度が併給可能であるかを確認してください。

令和7年度以前に本奨学生として採用されている方は、原則として正規の修業年限まで支給されるため、改めて申請する必要はありません。

2 支給額(返還不要)

年額 60,000円(月額 5,000円)

3 新規採用人数

約920人程度(継続採用者と合わせて計2,000人を採用予定)

4 選考方法

申請多数の場合は、応募資格を満たす方の中で生計状況の厳しい方から採用します。生計状況が同程度の場合は学業成績が上位の方から採用します。所得制限はありません。

5 支給期間

本奨学金は、原則として正規の修業年限(入学してから本来卒業する年度)まで支給されます。年度末に高等学校より提出いただく報告書を横浜市が確認し、修業状況に課題が見られない場合は、継続して採用されます。

6 提出期限

提出期限：令和8年5月8日(金) ※郵送の場合は必着

※申請方法は、本資料中面2、3ページを確認してください。

校内締切 4月17日

7 問合せ先 受付時間(電話・来庁) 8:45~17:15(土曜日・日曜日・祝日を除く)

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課 高校奨学金担当
電話 045(671)3474

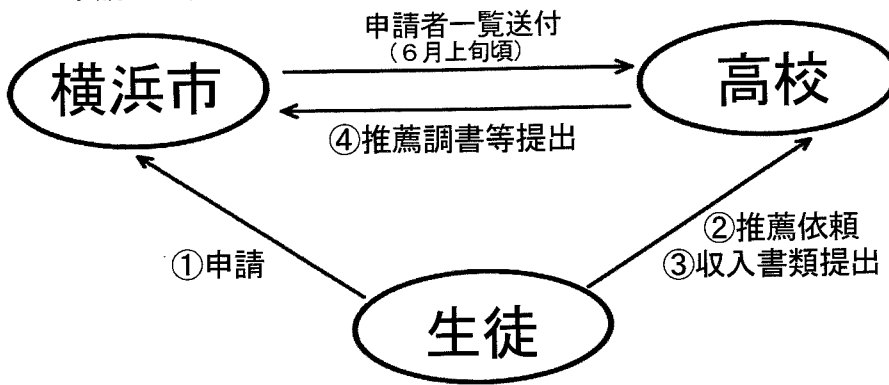


※本募集要項・申請書類様式は横浜市ホームページからダウンロードして使用できます。

横浜市奨学金 検索

上記二次元バーコードからもホームページを見ることができます。

8 申請から奨学生の決定・支給までの流れ



・オンラインの場合は、「横浜市電子申請・届出システム」で個人として利用者登録をしてください(すでに登録済の方は再度の登録は不要です)。
 ・利用登録は、どなたのお名前でもご登録いただけます。
 ・登録したメールアドレスとパスワードは忘れないようにしてください。

利用者登録



オンライン申請



①申請 (横浜市へ直接申請です)

提出期限：令和8年5月8日(金)

※郵送の場合は必着

提出書類		郵送で申請する場合	オンライン申請する場合
(1) 奨学生願書	全員	記入例(別紙1-①)を参考に記入し、 高校提出用にコピーを取ってください	横浜市電子申請・届出システムで申請し、高校提出用にPDFを印刷してください
(2) 口座振込払申出書		記入例(別紙1-②)を参考に記入	
(3) 生活保護受給証明書	該当者のみ	3ページ記載のア、イ①、イ②をご用意ください	全ての面を写した、PDF または画像データをアップロードしてください
(4) 施設入所証明書または委託措置証明書			
(5) 障害者手帳等(紙またはカード)のすべての面をコピー			
<p>横浜市に直接郵送! 普通郵便ではなく、特定記録郵便など配達記録が残る形で郵送</p>		〒231-0005 (1)~(5)を下記宛先に郵送 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課 高校奨学金担当	郵送で提出する書類なし ※振込先を生徒本人以外の名義の口座に指定する場合は、(2)に押印し左記宛先に配達記録が残る形で郵送してください。

②推薦依頼 (①の後すぐに行ってください) ※③の収入書類提出期限を高校に確認する

高校へ推薦依頼 (全員)
 ※郵送・オンライン申請ともに**必須**です。

「奨学生願書」のコピーと「推薦依頼文」を学校に提出
 <オンライン申請の場合>申請後の「申請内容のPDFをダウンロードする」よりPDF(「奨学生願書」と「推薦依頼文」が記入された形で出てきます)を取得し、印刷したものを学校に提出。(申請履歴からもPDFをダウンロードできます。)
 <紙申請の場合>記入した「奨学生願書」をコピーし、「推薦依頼文」を記入して学校に提出。

③収入書類提出

令和8年度の生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類

課税(非課税)証明書を高校へ紙で提出してください(3ページ、別紙3-①参照)。
 ①で(3)または(4)を提出した方は不要です。

提出期限：高校が指定する日まで

高校がとりまとめて横浜市に郵送(別紙2-②参照)

④推薦調書等提出

推薦調書の作成と収入書類のとりまとめ

<推薦調書>
 別紙2-①②参照
 オンラインまたは郵送で横浜市に提出してください。
 詳細は別紙2-②「高等学校の方へ」を確認してください。
 オンラインの場合は、上記「横浜市電子申請・届出システム」で事業者として利用者登録をしてください。

選考結果の通知 (10月頃)

高校を通して申請者全員に通知します。

奨学金の支給 (11月頃)

横浜市から奨学生本人の口座に入金されます。

●申請を取下げの場合

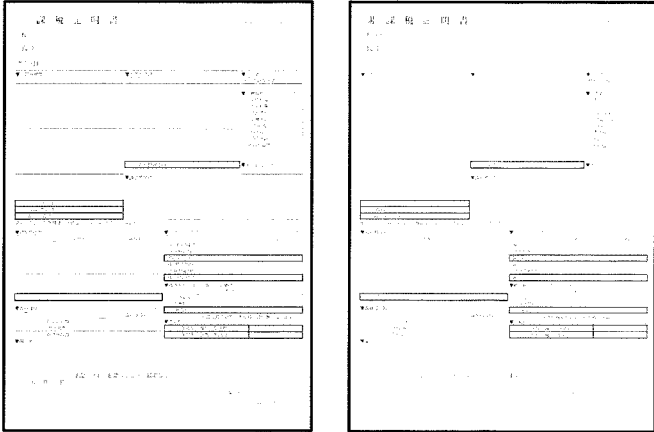
取下届の提出が必要です。オンライン申請が郵送にてご提出ください。(別紙3-②Q5参照)

高校から横浜市への提出期限：令和8年6月26日(金)

※郵送の場合は必着です。揃い次第のご郵送をお願いします。
 ※特定記録郵便など配達記録が残る形で郵送してください。

「生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類」について

以下のア～ウのうち、該当するものを提出してください。

区分	提出書類	提出時期
ア 生活保護世帯	生活保護受給証明書（コピー可） ・居住区の福祉保健センター長発行 ・申請日から直近3か月以内の日付のもの	(5月8日)①申請(金)まで
イ① 申請する生徒が児童養護施設に入所	施設長による入所証明書（コピー可） ・申請日から直近3か月以内の日付のもの	
イ② 申請する生徒が里親の元で生活	児童相談所が発行する委託措置証明書（コピー可） 申請をお考えの方は、事前に横浜市教育委員会へ御相談ください。	
ウ 上記ア・イのいずれにも該当しない世帯 令和7年度の証明書は無効です。必ず通常5月下旬から6月に発行される 令和8年度（令和7年分）の課税（非課税）証明書 を提出してください。 <u>※特別徴収税額決定（変更）通知書、納税通知書兼決定通知書、源泉徴収票は不可。</u> ※生計を同じくする家族のうち、応募時点で18歳以上であり、学生でない方について、全員分提出してください。 <u>扶養に入っている方や収入のない方も提出が必要です。</u> *ただし、 ・令和7年度まで学生だった方は不要（奨学生願書に☑欄あり） ・主たる生計者又は保護者の方※が学生の場合は必要 ・生徒本人が主たる生計者の世帯の場合は本人の書類が必要	令和8年度 課税（非課税）証明書（原本）  ・各区役所税務課・行政サービスコーナーで取得できるもの。実際はA4サイズ。 ・記載内容が「*****」という表記になっていても、そのまま提出してください。 ・他の用途で既に取得している場合は、コピーを提出することも可能です。 <取得について> ※詳細は、別紙3-①を参照してください。 ○窓口での取得の際は、「課税（非課税）証明申請書」の「■証明を必要とする理由」欄の「9. 横浜市高等学校奨学金」に○をつけてください。 ○スマートフォンや郵送により請求することも可能です。 ○取得した書類が「令和8年度課税（非課税）証明書」であるかを確認してください。 ○令和8年6月1日以降に取得できます。 なお、税額を給与から特別徴収されている方あるいは非課税の方は5月下旬から取得できる見込みです。 ○令和8年1月1日時点で横浜市以外の市区町村に住んでいた方は、その自治体が発行する課税（非課税）証明書が必要です。	③収入書類提出（高校が指定する日まで）

※保護者には現に志願者を監護する者、法的な親族関係がない場合も含まれます。申請書の「保護者欄」の記載にかかわらず、該当する方は学生であってもご提出ください。

その他注意事項

- ・コピーを提出する場合は、書類名（表題）や氏名等の文字が切れずに印刷されているか確認してください。
- ・提出書類は原則A4サイズで提出してください。
- ・ウを厳封して提出する場合は、学校名・申請者名・書類名を封筒表面に記入して、開封しない旨を高校に伝えた上で提出してください。

申請者の方へ 申請書類提出に関する依頼事項

1 奨学生願書「生計を同じくする家族」について

生活の資を共にする全ての方について漏れがないように記入してください。

同一生計とする場合

- ・同居している方：
年金収入等がある祖父母や給与所得等があるきょうだいについても、同居していれば「生計を同じくする家族」に含む
- ・進学や単身赴任等により別居しているが、送金等により生活の資を共にしている方：
自宅外通学の学生等、主たる生計維持者の送金が生活費の大部分を占めている場合

同一生計としない場合

- ・二世帯住宅等で食費・水道光熱費・住居費等を含め、生活の資が分かれている方
- ・別居していて、生活の資を共にしていない方：
離婚・別居している者からの送金があるが、それが生活費の大部分を占めない場合も含む

2 口座振込払申出書について

- ・生徒本人名義の口座情報を記入してください。
やむを得ない理由で生徒本人以外の名義の口座に振り込む場合は、口座振込払申出書の中央四角内に記入し、生徒本人の印を押してください（シャチハタ不可）。この場合は、オンライン申請をするときでも紙の口座振込払申出書に押印し、配達記録が残る形で郵送で提出してください。
- ・普通預金の口座を記入してください。

3 障害者手帳等のコピーについて

- ・全ての面をコピーしたものを提出してください。
- ・この書類を提出する家族の方が、18歳以上で学生でない場合は収入等の状況がわかる書類の提出も必要です。

その他

- ◎ 提出された書類は、原則として返還しません。奨学生採用決定事務のみに使用します。
- ◎ 提出された書類に不備や不足がある場合は、横浜市または高等学校から状況を確認したり書類の再提出を求めたりすることがあります。選考に必要な不備のない書類が提出されない場合は選考対象外となり不採用となります。
- ◎ 申請（選考）中や採用後に、保護者が横浜市外に転居した場合や本人が学校を退学した場合などは、本市奨学生の資格を失い、その日の属する月の翌月分から支給停止となります。資格喪失に該当するときは、直ちに横浜市に御連絡ください。
- ◎ 偽り等不正な手段で横浜市高等学校奨学生の決定を受けたことが判明した場合は、その決定を取り消すことがあります。

一般財団法人 岩崎与四郎育英会奨学生についての御案内

横浜市高等学校奨学生に不採用となった方の中から、選考順に「一般財団法人 岩崎与四郎育英会（以下、同法人という）」の奨学生へ推薦します。（氏名、住所、学校名、課程、学年以外の情報は提供しません。）

- ・応募資格・支給内容は横浜市高等学校奨学生と同じです。原則として正規修業年限の間は継続して支給されます。
- ・推薦候補者には、横浜市教育委員会より在学する高等学校を通して、横浜市高等学校奨学生の不採用通知と併せて連絡します。なお、推薦人数は20名程度を予定しています。
- ・採用が決定した場合は同法人より高等学校へ通知し、高等学校を通して奨学金が支給されます。

※一般財団法人 岩崎与四郎育英会奨学生は、横浜市高等学校奨学生の申請及び併給はできません。

<紙で申請する場合に使用：生徒作成>
第1号様式（第2条第1項）

原本は高校ではなく教育委員会に提出
必ずコピーを取り、高校へコピーを提出

※担当記入欄

奨 学 生 願 書

本人	フリガナ			生年月日 (年齢)	年 月 日
	氏名				歳
	現住所	〒 -			
	在学 学校名等 (いずれかに☑→)	()立 高等学校		(転)入学	年 月
	<input type="checkbox"/> 全日制	<input type="checkbox"/> 定時制	<input type="checkbox"/> 通信制	()年	卒業予定 年 月
保護者	氏名			本人との 続柄(間柄)	申請する年の 4月30日時点で 保護者が横浜市 内に居住してい ること
	現住所	〒 横浜市 区		(連絡先TEL - -)	

生計を同じくする家族	本人との 続柄	氏名	年齢	未就学児を除く全ての方について、 AとBのいずれかに記入が必要です。					障害者 手帳を 添付さ れる方 ↓○	※担当 記入欄	
				A	B (1)・(2)のいずれかに記入						
				取入等の 書類を 提出 ↓☑	(1) 昨年度 まで学 生 ↓☑	(2)本年度に学生 ↓☑及び記入	校種 下記 1~9	自宅外 通学 ↓○			
本人				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					ひ	<input type="checkbox"/>
保護者				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立				生	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立				施	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立				障	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立					
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立					
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立					

奨学金を 必要とする理由 (記入必須)	
---------------------------	--

横浜市教育委員会教育長
横浜市奨学条例及び同施行規則を遵守しますので、奨学金の支給を願い出ます。
_____年 月 日

校種 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:高等専門学校 5:専修学校(高等課程) 6:専修学校(専門課程)
7:短期大学 8:大学 9:大学院
◎科目履修生・聴講生・研究生、専修学校(一般課程)、各種学校(予備校・職業訓練校・農業大学校等)は除きます

この書類と願書のコピーの2枚を、高校へ提出してください

<紙で申請する場合は、②推薦依頼で下記のとおり高校に推薦調書の提出を依頼してください。>

※オンライン申請の場合は、この用紙と奨学生願書の写しがPDFで出力できますので、この用紙への記入は不要です。

横浜市高等学校奨学生 推薦依頼文

_____年 _____組

申請者氏名 _____

横浜市高等学校奨学生の申請には、奨学生願書の提出に加え、在籍する高等学校が作成する推薦調書の提出が必要です。つきましては、本ページと奨学生願書の写しを在籍する高等学校に提出し、推薦調書の提出を依頼してください。

併せて、収入等の状況がわかる書類を、学校が指定する日までに学校に提出してください。

収入等の状況がわかる書類の提出有無（該当する方に☑）

課税証明書類を提出する

課税証明書類を提出しない（その他収入等の状況がわかる書類を提出済み）

=====

高等学校校長

横浜市高等学校奨学生の申請に係る推薦調書の作成等について（依頼）

上記申請者が横浜市高等学校奨学生に応募するにあたり、在籍する高等学校からの推薦が必要です。つきましては、下記を確認の上、推薦調書を作成していただきますとともに、志願者から提出される収入等の状況がわかる書類をお取りまとめいただき、あわせて提出いただきますようお願いいたします。

●推薦調書の作成・提出について

ホームページの「高等学校の方へ」及び募集要項別紙2-②を確認の上、下記の手順で作成及び提出してください。

- ・申請者から推薦調書の作成等についての依頼文（本紙）及び奨学生願書の写しを受け取る
- ・6月上旬頃に横浜市教育委員会から学校あてに送付される申請者一覧を確認する
- ・推薦調書を作成する。
- ・推薦調書と収入書類を横浜市教育委員会に提出する。 提出期限：6月26日（金）必着

●提出先

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課 高校奨学金担当

●問合せ先

電話 045-671-3474 E-mail ky-kokoshougakukin@city.yokohama.lg.jp

●横浜市ホームページ

横浜市奨学金 検索 🔍



第1号様式（第2条第1項）

《奨学生願書記入例》

オンライン申請の場合は、電子申請・届出システムで入力

必ず高校提出用のコピーをとってください。

学 生 願 書

フリガナ	ヨコハマ サクラ	サポート校名・キャンパス名は記入しないでください 正式な学校名(例：〇〇高等学校)を記入してください	平成21年〇月△日
氏名	横浜 さくら	年月日	17 歳
現住所	〒 231 - 0005 横浜市 中区 本町6丁目50-10 教育第一ハイツ202		
神奈川県立 市立 私立	(〇〇〇)立 〇〇 高等学校	(転) 入学	〇△年〇月
(いずれかに☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制	(2) 年	卒業予定 〇□年〇月

氏名	横浜 奈美	本人との続柄(間柄)	母	申請する年の4月30日時点で保護者が横浜市内に居住していること
現住所	〒 231 - 0005 横浜市 中区 本町6丁目50-10 教育第一ハイツ202	(連絡先TEL 045 - △△△ - ××××)		

保護者が市内在住でない方は、選考ができず不採用となります。

未就学児を除く全ての方について、日中に連絡可能な電話番号をご記入ください。AとBのいずれかに記入が必要です。

本人との続柄	氏名	年齢	収入等の書類を提出		学校名(正式名称)			校種 下記 1~9	自宅外 通学 ↓○	障害者 手帳を 添付さ れる方 ↓○	※担当 記入欄
			A 昨年度 まで学 生 ↓☑	B (1)・(2)のいずれかに記入 (2)本年度に学生 ↓☑及び記入	(1) 学校設置者	(2)	自宅外 通学 ↓○				
本人			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			3				ひ □
保護者		49	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立						生 □
父	横浜 秀一	50	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立						施 □
祖母	横浜 はな	73	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私						施 □
兄	横浜 浩二	23	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私						
姉	横浜 聡子	19	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立	〇〇大学	8	○			
弟	横浜 翔	14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	横浜市立 △中学校	2		○		
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立						

募集要項 4 ページ 1 参照

18歳以上であり学生でない方は、収入等の書類を提出する必要があります。詳細は募集要項3ページを御確認ください。

令和7年度まで学生だった方は(2)学校名等は記入しないでください。本年度も学生の方は☑せず、(2)の枠内のみ記入してください。

高校生以上の(2)本年度に学生の方で、一人暮らしや寮など自宅外から通学している場合は、○を付ける

願書下部の校種を数字で記入

障害者手帳等のコピーを提出する場合は、その方の欄に○を付ける

奨学金を必要とする理由(記入必須)

・申請理由を具体的に記入してください。
・本人・保護者のどちらが記入しても構いません。
(記載例) 収入が少なく、きょうだいが多いため家庭の教育費負担が大きいです。高等学校を卒業するまで学び続けたいため、奨学金の受給を希望します。

修正テープや修正液は使用しないでください。修正する場合は、二重線を引いて近くに書き直してください(訂正印不要)。

横浜市教育委員会教育長
横浜市奨学条例及び同施行規則を遵守しますので、奨学金の支給を願い出ます。

令和8年 〇月 ×日

校種 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:高等専門学校 5:専修学校(高等課程) 6:専修学校(専門課程) 7:短期大学 8:大学 9:大学院

◎科目履修生・聴講生・研究生、専修学校(一般課程)、各種学校(予備校・職業訓練校・農業大学校等)は除きます

(様式 3)

《記入例》

奨学金口座振込払申出書

原則、生徒本人名義の口座情報を記入してください。

令和 8 年 ○月 ●日

(提出先)

横浜市教育委員会教育長

修正テープや修正液は使用しないでください。

修正する場合は、二重線を引いて近く書き直してください(訂正印不要)。

学校名	☆☆☆立〇〇高等学校		
課程	全日 制	学年	2 年
生徒本人氏名	①横浜 さくら		
生徒本人現住所	横浜市中区本町6丁目50-10 教育第一ハイツ202		
日中連絡先	045 - △△△ - ××××		

横浜市高等学校奨学金は、下記口座に振込み

※ 口座名義人が生徒本人ではない場合は、次の.....に記名及び押

この四角内に記入・押印が必要なのは、生徒本人以外の名義の口座を振込先に指定する場合です。

下記、.....②横浜 秀一.....名義の口座に奨学金を振込み願います

②口座名義人の名前を記入

この枠内で修正があった場合は、訂正印をお願いします。

生徒本人氏名.....①横浜 さくら.....

横浜

①生徒本人の名前を記入

生徒本人の印を押してください。
(いわゆるシャチハタ等のスタンプ印は不可)

振込先金融機

フリガナ	ヨコハマ シュウイチ		
口座名義人氏名	② 横浜 秀一		
金融機関の名称	〇〇〇 銀行	□□ 支店	
預金の種類	普通預金		
口座番号	(金融機関コード4桁) ◇◇◇◇	(支店コード3桁) △△△	(口座番号7桁) □□□□□□□

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)の場合:

振込用の「店名(漢数字3桁)・店番(数字3桁)・口座番号(7桁)」「通帳の見返しページ(表紙の裏側)の次頁下側に表示)を記入してください。「記号・番号」を記入した場合、振込ができません。

《 推薦調書記入例 》

別紙2-①

<紙で提出する場合に使用：高校作成>

第2号様式（第2条第2項）

全ての申請者について作成をお願いします。
オンラインでの提出が可能です。

推 薦 調 書		教科・科目	
氏 名	横浜 さくら		1 年
在 学 学校名	〇〇〇 立 〇〇 高等学校		
課程・学年	全 日 制 2 年	国 語 総 合	4
推 薦 所 見 (学業・人物・経済状況等)	学業（努力して取り組んでいた教科・科目、学習態度など）、人物（生活態度、性格、学校生活で担っている役割など）、経済状況等について、 <u>奨学生としてふさわしい旨を記載してください。</u> 経済状況については、把握されている範囲で結構です。 ※新1年生につきましても、出身中学校からの引継ぎ資料や6月までの学習・生活態度等を基に記入をお願いします。	現 代 社 会	4
		数 学 I	5
		数 学 A	3
		化 学 基 礎	4
		体 育	5
		保 健	5
		美 術 I	5
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語 I	4
		家 庭 総 合	4
		心 理 情 報	5
		評 定 平 均	4.36

新1年生については、「中3(年)」と記入し、中学校第3学年末の成績を記入してください。

新2年生以上については、前年度1年間(学年末)の成績を記入してください。

中学校は教科名
高校は科目名を
記入してください。

※ 教科・科目が多く欄内に書けない場合は、次のいずれかの方法をお願いします。

- ① 教科・科目欄に「別紙のとおり」と記入し、別途学校で作成している成績証明書（コピー可）を添付する。
(評定平均を含む他の欄は全て記入してください。)
- ② 本様式をコピーして2枚作成する。
(1枚目に評定平均を含む全ての欄を記入し、2枚目の「生徒氏名・学校名・学年」も必ず記入してください。)

小数点以下第3位を四捨五入
(必ず記入)

上記の者は、横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、推薦します。

令和8年 ○月 ●日

(あて先)
横浜市教育委員会教育長

学校名 〇〇〇立〇〇高等学校

学校長名 △△ △△

「学校長印」の押印は
不要です。

連絡先
〒 番 号 :
住 所 :
電 話 番 号 :
担 当 者 : (記 入 者 名)
(奨学金担当者名)

・内容の確認のため御連絡させていただくことがありますので、電話番号と御担当者名を記入してください。
・記入者と、奨学金事務御担当者が異なる場合は、それぞれの御名前を記入してください。

この書類は、高等学校で作成してください

修正テープや修正液は使用しないでください。
修正する場合は、二重線を引いて近く書き直してください(訂正印不要)。

高等学校の方へ 申請手続きに関する依頼事項

1 申請書類の提出について

申請者の把握	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が奨学生願書等を横浜市に提出した後、高校に提出する<u>推薦依頼文と奨学生願書の写し</u>を確認してください。 6月上旬頃に横浜市から高校に申請者一覧を送付します。こちらでも申請者及び「生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類」の提出が必要な申請者を確認できます。（推薦依頼文と奨学生願書の写しの未提出者が申請者一覧に記載されている場合もご対応ください。） ※願書の「A収入等の書類を提出」に（オンラインの場合）「提出する」または（紙の場合）「✓」の記載がない場合でも、<u>学生ではない18歳以上の方は提出をお願いいたします</u>（募集要項3ページウ）。
提出書類	<p>(1) 推薦調書 次項2「作成上の注意」及び別紙2-①「推薦調書記入例」を確認し、<u>申請した全ての生徒について作成してください。</u></p> <p>(2) 生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類 （ウ 課税（非課税）証明書のみ） 募集要項3ページを参照し、書類の不備や不足がないか御確認ください。表題に「令和8年度（令和7年分）」の記載がある証明書が必要です。 なお、証明書は通常5月下旬から6月に発行されますが、発行が遅れる場合があります。提出期限に間に合わない場合は担当まで御一報ください。</p>
オンラインの場合	<p><u>推薦調書はオンラインでの提出が可能です。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 「横浜市電子申請・届出システム」で事業者として利用者登録をしてください。登録したメールアドレスとパスワードは忘れないようにしてください。 横浜市ホームページから「推薦調書（オンライン提出用）」をダウンロードし、作成してください。全員分を1つのExcelファイルにまとめて入力することができます。 横浜市奨学金 検索 同ホームページ「高等学校の奨学金御担当者様へ」の「オンライン申請」から提出してください。 <p>※推薦調書の提出は、学校単位でオンラインまたは郵送のどちらかに統一してください。</p> <div style="float: right; text-align: center;"> <p>利用者登録</p>  <p>オンライン申請</p>  </div>
提出方法	申請者一人ずつ、上記(1)(2)の順に重ね、左端上部1か所をホチキス留めして郵送してください（(1)をオンラインで提出する場合は、(2)のみの提出となりますが、複数枚ある場合は申請者ごとにホチキス留めをお願いします）。
提出期限	令和8年6月26日（金）【必着】
提出先	<p>横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課 高校奨学金担当 （住所 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10）</p> <p>※封筒表面に「奨学金申請書類在中」と記載してください。 配達記録が残る形での郵送をお願いします。</p>
その他依頼事項等	<ul style="list-style-type: none"> 提出された書類に不備・不足がある場合は、高校を通して状況を確認したり書類の再提出を求めたりすることがあります。 令和7年度以前に本奨学生として採用されている継続採用予定者については、改めて申請書類を提出していただく必要はありません。

2 「推薦調書〈様式②〉」作成上の注意

別紙2-①「推薦調書記入例」も御確認をお願いいたします。

学業成績	<ul style="list-style-type: none"> 前年度学年末の全履修教科・科目について、指導要録に基づき教科・科目の名称及び5段階評価の評定を記入してください。 ※対象となる成績については、募集要項1ページを確認してください。 「評定平均」は小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで記入してください。 ※「評定平均値が3.50以上である」という応募資格を満たさない方は、選考ができません不採用となります。
推薦所見	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の学業・人物・経済状況について記入してください。（経済状況については、把握されている範囲で結構です）

課税（非課税）証明書の取得について

課税（非課税）証明書は、以下の方法で取得してください。

1 窓口での取得について

本紙（別紙3-①）を窓口を持参して申請してください。

◎必ず「令和8年度（令和7年中の所得の証明）」を取得してください。

取得時に記入する「課税（非課税）証明申請書（市民税・県民税・森林環境税）」の「必要なものに○をつけてください」の選択肢で「令和8年度（令和7年中の所得の証明）」を選択して申請し、取得した書類が「令和8年度課税（非課税）証明書」であるかを確認してください。

◎取得方法

課税（非課税）証明申請書（市民税・県民税・森林環境税）の「■証明を必要とする理由」欄の「9. 横浜市高等学校奨学金」に○をつけてください。

◎取得できる時期

令和8年6月1日以降に取得できます。

なお、税額を給与から特別徴収されている方あるいは非課税の方は5月下旬から取得できる見込みです。

また、税の申告がお済みでない場合など、すぐに取得できない場合がありますので、申告の際に窓口で御確認ください。

2 オンライン申請・郵送による請求について

お住まいの区役所税務課へ、オンライン申請や郵送により請求することも可能です。

オンライン申請の際、年度は「令和8年度」、用途は「9 横浜市高等学校奨学金」を選択してください。

請求方法の詳細については、次の横浜市ホームページを御確認ください。

横浜市トップ>くらし・手続き>戸籍・税・保険>税金>市税の証明>

「市民税・県民税・森林環境税課税（非課税）証明書」（財政局主税部税務課のページ）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/koseki-zei-hoken/zeikin/shizei-shomei/kazei-shomei.html>

3 横浜市以外の自治体での取得について

令和8年度課税（非課税）証明書を取得していただく方で、令和8年1月1日時点で横浜市以外の市区町村に住んでいた方は、その自治体が発行する課税（非課税）証明書が必要です。

取得についてはその自治体の課税証明書類担当部署にお問い合わせください。

よくあるご質問

申請について

Q1:昨年度も奨学金を支給されましたが、再度申請が必要ですか？

A:令和7年度以前に本奨学生として採用されている方は、原則として正規の修業年限まで支給されるため今年度の申請は不要です。すでに申請した場合は申請を取下げてください。(取下方法は Q5参照)

Q2:前年度1年間の学業成績が 3.50 以上とありますが、10 段階評価からの計算方法がわかりません。

A:お通いの高等学校に5段階評価の成績の算出方法をお聞きください。

Q3:願書や推薦依頼文の印刷環境がありません。

A:大変お手数ですが、コンビニエンスストアなどで印刷をお願いいたします。

Q4:オンラインで申請しましたが、修正をしたいです。

A:一度下記連絡先までご連絡ください。申請を差戻しますので修正し再申請してください。

Q5:申請を取下げたいです。

A:(オンライン申請をした場合)横浜市電子申請・届出システムにログイン後、申請履歴から本奨学金の申請履歴を選択し、「この申請を取下げる」を選択してください。

(郵送での申請の場合)「志願取下届」を提出してください。本奨学金 HP より、オンラインまたは紙で提出してください。

Q6:オンラインで申請しましたが、PDF の保存・印刷をし忘れしました。

A:横浜市電子申請・届出システムにログイン後、申請履歴から本奨学金の申請履歴を選択し、「申請内容の PDF をダウンロードする」を選択して PDF を印刷してください。

Q7:オンライン申請(奨学生願書を郵送)しましたが、これで申請は完了ですか？

A:願書の写しと推薦依頼文を高等学校へ提出したのち、学校が指定する日までに「生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類」を提出してください。

Q8:障害者手帳を添付したいのですが、どのページが必要ですか？

A:すべての面をコピー(撮影・スキャン)し、添付してください。有効期限のご確認もお願いいたします。

Q9:家族の状況等を願書の写しで学校に知られたくありません。

A:一度下記連絡先へご連絡ください。

収入等の状況がわかる書類について

Q10:収入等の状況がわかる書類は、誰のものが必要ですか？

A:保護者と 18 歳以上の昨年度または今年度学生ではない方は全員必要です。扶養に入っている方や収入がない方も必要となります。

Q11:収入等の状況がわかる書類は何を提出すれば良いですか。

A:必ず、令和8年度(令和7年分)の「課税(非課税)証明書」を提出してください。

特別徴収税額決定(変更)通知書、納税通知書兼決定通知書及び源泉徴収票は不可となります(詳細は募集要項3ページをご確認ください)。

Q12:学校の提出期限までに、課税(非課税)証明書が発行できません。

A:学校にご連絡のうえ、下記連絡先にご相談ください。

Q13:課税(非課税)証明書はどこで取得できますか？

A:区役所の税務課または行政サービスコーナーで取得できます。スマートフォンや郵送により請求することも可能です。詳しい取得方法については別紙3-①「課税(非課税)証明書の取得について」を参照してください。

<連絡先>

〒231-0005

横浜市中区本町6-50-10

横浜市教育委員会事務局

学校支援・地域連携課

電話045-671-3474